



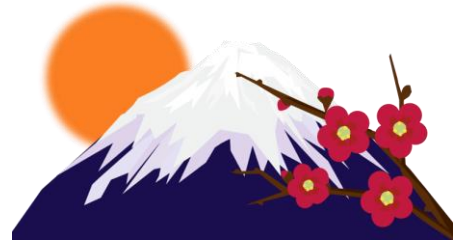
みなかぜ通信

vol.10 冬号 H27.1.20 発行

巻頭言

明けまして

おめでとうございます



皆様におかれましては、お変わりなく、新年をお迎えになったことと存じます。旧年中は、皆様のおかげにより、充実した年を過ごせました。感謝申し上げます。当院の発展のために、全職員が尽力し、医療の質の向上に向けたパワーを感じることができました。この変化が、利用して頂いている患者さん、ご家族、地域の皆様にも実感して頂けるよう、全職員一丸となってより一層努力して参ります。

本年が、当院の更なる飛躍の年となることを期待するとともに、患者さん、ご家族、地域の皆様、そして職員の皆さんがご健康で過ごされますよう、お祈り申し上げます。

院長 堤 啓



医療法人せいわ会 **みなかぜ病院**

発行責任者 院長 堤 啓

〒819-1124 福岡県糸島市篠原西 1-14-1

TEL 092-322-3261 URL <http://www.minakaze.jp/>

【病院理念】

快適な医療環境と患者本位の医療サービスを提供します。

【基本方針】

- 患者とご家族の皆様が安心できる医療環境づくりに努めます。
- 地域と連携し、社会貢献に努めます。
- 患者の社会復帰と自立に向けた支援に努めます。
- 医療従事者として自己研鑽に努めます。
- 安定した病院経営基盤の確保に努めます。



日本医療機能評価機構
認定第 JC1945 号

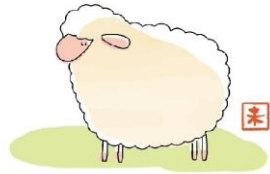


今年の抱負・目標



診療部長

木村 嘉郎



「ミスが起こりにくい 環境の整備」

近年、医療訴訟が増大傾向にあり、医療提供側の責任問題が問われるケースも少なからず見受けられています。人はミスを起こすものですが、いかにミスが起こりにくい環境にするか、これが私にとっての課題であり、今年の目標です。



事務長

森田 玉喜



「公平無私な対応」

今年の抱負は「公平無私」な対応を心掛けます。

これは、私情や私利に左右されず、公平な判断をすることです。職場の皆さんが働きやすく、患者さんに笑顔で接することができる職場環境を創っていくことと認識しております。

今年も、笑顔で、頑張っていきます。



看護部長代行

村田 哲雄



「自分の強みを伸ばす」

昨年、自分の強みだと思っていたところが実はそうでなく、反対に強みとは思っていなかったところが実は隠れた強みだったことを知りました。当たり前のことですが、このことをしっかりと成し遂げる一年にします。



薬剤部長

池田 正高



「患者さんに、安心して お薬を服用して頂く」

特に外来においては、短時間でお薬の説明、飲み方、注意点などを基本とし、様々な説明が必要です。その中で、分かり易い説明を心掛け、安心して服用できるように工夫をして、信頼される薬局にしていきたいと思います。





クリスマス会



1 病棟

看護師 江田 修

12月22日の開催に向けて、数日前より病棟内を飾り付けはじめ、当日午前中に患者さんと職員が一丸となって綺麗な会場づくりをしました。会では初めにクリスマスらしく『赤鼻のトナカイ』『きよしこの夜』を合唱し、その後クリスマスプレゼントの抽選会を行いました。当選した10名の方は、とても嬉しそうでした。ジュースやお菓子を飲み食いした後、最後に再びクリスマスソングを歌って終わりました。みなさんのとても楽しそうな笑顔が印象的でした。



2 病棟

看護師 飯田一広

12月25日にクリスマス会を行いました。今年はゲストとして、井マジシャンとウクレレブラザーズに出演して頂きました。マジックショーでは、軽妙なトークと超絶なイリュージョンで、皆さんの目が釘付けとなっていました。最後に行ったビンゴゲームでは、真剣な表情の中にも、沢山の笑顔があり、最高の盛り上がりとなりました。



ウクレレブラザーズ

井マジシャン



3 病棟

看護師 上野愛子

12月18日に開催しました。今回は、患者さんが中心となって企画、準備、進行などを行いました。そのグループでは、意見が食い違うこともありましたが、当日はコーラス発表、カラオケ、ビンゴゲームなどの楽しい一時を過ごしました。参加した患者さんからは「無事終わって良かった」「ビンゴでプレゼントもらったよ」「司会は大丈夫だったやろうか??」などの声が聞かれました。



次回も楽しく、充実したクリスマス会となりますように…

5 病棟

看護師 諸星美知子

12月18日に開催しましたクリスマス会では、患者さん、スタッフみなで力を合わせて折り鶴で作ったツリーを作成しました。全ての飾り付けが終わった後、患者さんの嬉しそうなお顔や達成感ある表情が見られ、とても印象的でした。会ではビンゴゲームが大盛況で、普段は寝ていることが多い患者さんも、数字を見ては「当たったらんねえ~!!」と真剣なまなざしで参加しておられました。最後に看護主任が書いた“夢”という文字に、拍手喝采となり、終宴しました。



『みなかぜ通信』第10号発行を迎えて

日頃より、『みなかぜ通信』を拝読頂き、誠にありがとうございます。

平成24年8月頃より、第1号を10月に発行すると目標設定し、手探り状態で悩みながら作り、今号で第10号を発行するに至りました。

「ご家族、地域、他施設、関連機関の方々に、みなかぜ病院をもっと知ってもらいたい」という思いで、“見やすく、読みやすく、親しみやすい広報誌”を心掛けて作成、発行してきました。まだまだ不十分なところもあり、読んで頂いている方々にとっての“見やすく、読みやすく、親しみやすい広報誌”には、程遠い部分があるかと思えます。今後、これまで以上に工夫を凝らし、

『みなかぜ通信』を通じて当院からの情報を皆様にお届けしたいと考えております。

今後とも、よろしくお願ひいたします。

今後とも、よろしくお願ひいたします。

広報委員長 石原浩二



記念すべき
『みなかぜ通信 vol.1』
の表紙

職員紹介リレー

ハイタッチ!!



氏名：中島祐介

部署：リハビリ科OT室

職種：作業療法士

趣味：野球、ソフトボール

一言：失敗を糧にして、これからも成長していきたいです。



編集後記

新しい年を迎え、この「みなかぜ通信」も、今回で第10号となりました。今後も、皆さんに親しんで頂ける広報誌を作っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

まだまだ寒い日が続きます。体調には十分気をつけて、元気にお過ごしください。

